

Think of Next

CSR報告書

Vol.2

「快適環境創造企業」に向かつて

目指すポジション
中特グループの紹介
マテリアルバランス
第1回エコフェス in 中特グループ
Happy／Happy勉強会
カーボンオフセットの取組
安全衛生・防災のレベルアップ



中特グループ



環境と人々を笑顔に お客様と『Happy×Happy』の関係を

私たち中特グループは
地球の環境をグローバルに考え
生活から出たものすべてを
処理し再生させるというコンセプトのもと
グループのネットワークを活かし
限りある資源を大切にする
循環型社会の一役を担います

よりよい環境をつくり育てて
次世代に笑顔をつなぐために
これからも地域社会に貢献してまいります

目指すポジション

私たち中特グループでは、2015年7月末までに目指すポジションとし5項目を決め、毎日朝礼にて唱和するとともに、一致協力して取り組んでいます。

- ① 中国地区でお客様満足度No.1企業を目指します
- ② 徹底した法令遵守で業界No.1の信頼される企業を目指します
- ③ 社員の元気度No.1企業を目指します
- ④ 固有技術を磨き、「収集運搬業からサービス業」へ「処理業から製造業」への転換を目指します
- ⑤ 地域と共存し、地域になくはない企業を目指します



編集方針

この報告書は私たち中特グループが社会・環境活動の報告を通してステークホルダーの皆様と対話を図る目的で発行しました。作成に当たっては、環境省の環境報告書ガイドライン（2012年版）及びISO26000を参考にしました。

尚、ウェブサイトにおきましても逐次社会・環境活動等を記載紹介しています。

◆対象期間

2013年11月～2014年10月
（一部対象期間外）

◆対象範囲

株式会社中特ホールディングス
中国特殊株式会社
株式会社吉本興業
株式会社リライフ
株式会社藤井興業

◆発行時期

2014年11月

◆お問合せ先

株式会社中特ホールディングス CSR推進室
山口県周南市大字久米3078番地の1
URL <http://www.chutoku-g.co.jp>
TEL 0834・26・0500
FAX 0834・25・2856

目次

プロローグ	1
目指すポジション、編集方針、目次	2
2014トップインタビュー	3
中特グループの紹介、組織、理念信条	6
中特グループの事業内容	7
環境活動	8
環境方針、ISO内部監査、更新審査	9
環境目的、目標、実績	10
カーボンフットプリントの取組、CO ₂ 排出量推移	11
マテリアルバランス、出前環境授業	12
地域社会とのかかわり	13
第1回エコフェス in 中特グループ開催	14
地域清掃活動	15
周南市もやいネット、いきいきサロン	16
岩国豪雨災害、徳山夏まつり、不法投棄	17
お客様とのかかわり	18
Happy/Happy勉強会、廃棄物のQ&A	19
ポータルハートサービス、エコテクノ・フェア	20
工場見学の入入れ、吉本興業リニューアル	21
社員とのかかわり	22
事業発展計画発表会	23
リーダー研修会、廃掃法勉強会、各種勉強会・講習会	24
自己啓発支援、各種研修・啓発活動	25
第11回 周南24時間リレーマラソン参加	26
社員研修旅行、社員親睦行事	27
安全衛生・防災活動	28
安全組織、事故撲滅研修、危険箇所MAP他	29
KY活動、交通KY、消火、誘導訓練他	30
採用活動と人事制度	31
会社説明会、トータル人事制度	32
インターンシップ受入、編集後記	33

『快適環境創造企業』に向かつて

私たちの生活から出たものの全てを適正に処理します。

—— 最近の中特グループ

の業績と今後の見通しについて
考えておられることを教えてください。

事業発展計画発表会において

お知らせしましたように、中国特殊は減収増益でしたが、グループ全体としては増収増益という嬉しい結果となりました。会社ですの売上は一円でも多く、経費は一円でも少なくする努力をしなければなりませんからね。皆さんの努力の賜物です、ありがとうございます。ただ、私がそれ以上に前期の活動の中で一番有意義だと思ったことは、若手社員の皆さんが率先

して行った第1回エコフェスの開催、CSR報告書の創刊、そして下松工場の来場者が延べ400人以上となったことなどです。

今後の見通しということですが、私はお客様、社員の皆さん、そして地域社会に暮らす皆さんが喜んで下さることを考えるいうことを使命としています。ですから様々な視点に立ち、今後もあらゆる活動を創造して行きたいと考えています。

—— 中国特殊は来年節目

の50年を迎えますが、グループの当面の課題と対応策について教えてください。

50周年というのは一つの節目

であることは確かですよ。会社の存続率が30年で0・02%だと言われていますから。ましてや、人口が減少している日本では、今後さらに存続率が低下していくことでしょう。当面の課題ですか、そうですね、抽象的かもしれませんが、一言で表すなら、より柔軟で、より強固な組織作りでしょうか。会社が100年、200年続くような基盤を作っておきたいと思っています。

対応策については、やはり社員の皆さんによく勉強して頂くこと。私たちの合言葉である、

「現実を見よう、外を見よう、

先を見よう」を実践して頂きたいのです。この先、世界はどう変化するのか、日本は、山口県は、周南市は、そして私たちの生活はどう変化して行くのかを知り、主体的に仕事をして頂きたいと切に思っています。来年は中期ビジョンの仕上げの年です。掲げている、私たちの「目指すポジション」を必ず達成して行きましょう。

—— グループ・業界を取り

巻く状況もかなり変わってきていますが、将来への対応についてどのように考えておられますか？

会社が設立された50年前を考えてみると、高度成長期で人口もどんどん増えましたから、汗水流して気合と根性で頑張れば何とかあった時代という見方もありますね。高度成長期は上りエスカレーターに乗った時代とするなら、今は下りエスカレーター時代と言えます。私たちはみんな下りエスカレーターに乗っていると考えて下さい。そこに留まって何もしなければ自然と下の階に連れて行かれますよね。何も行動しなければ自然淘汰されていく時代なのです。これは、どの業界でも同じことです。ましてや社会に迷惑をかけたなり、社会に必要とされない会社は要らないのです。

それでは、どう対応していけば良いのか、それは至ってシンプルなこと、その逆を考えるのです。どうしても人様のお役に立つだろうか、喜ばれるだろう



中特グループ副代表

橋本 ふくみ

聞き手 廣中 秀光 (CS 営業部 2012 年入社)

相本百合子 (総務部 2011 年入社)

「快適環境創造企業」

として行動するという点で、
が具体的にどのようなことに重
点を置いておられますか？



か、必要とされるだろうか。私
は、これらを徹底的に追及する
以外方法はないと思っています。
そして、「社会の役に立てば立つ
ほど会社は発展する、会社が発
展すればするほど社会の役に立
つようになる」なのです。

私たちの目指す姿は「快適環
境創造企業として、地域社会に
貢献する」でしょう。地域に暮
らす皆様のお困りごとに一つ一
つ丁寧に取り組んでいく、社員
一丸となって真剣に考えていく
ことが必要だと思っています。

快適環境創造企業の理念につ
いていうと、私たちの事業分野
は幅広く多岐に亘ります。廃棄
物も各家庭や一般事業所、飲食
店から出されるもの、工場や建
設現場から廃棄されるもの、下
水道の管理・浄化槽の管理、汚
水処理、最近ではダチョウ飼育な
ど…様々な事業分野があります
ね。この理念を作る時に、私た
ちの仕事を一言で表現するとし
たら何だろうと考えていたら、
快適環境創造の言葉が出て来た
のです。私たちは日々、地域に
暮らす皆さんに、いかに快適な
環境を創って提案し提供するこ
とが出来るか、なんです。で
も、だとしたら、現在の事業に
囚われることなく、もっと他の
こともご提案出来るのではない
でしょうか。

CSR
報告書2号発刊と
なりますが、グ
ループのCSRに
ついてどのように
考えておられます
か？



CSR 報告書 vol.1 2014年2月発行

報告書を発刊する前から、企
業の社会的責任を果たすという
意味で、私たちは行動をしてい
ましたよね。私は、日本人の美
徳として、公言しなくても善行
は黙ってやればよいと思ってい
たのですが、ある時ある方か
ら、企業として活動しているこ
とをステークホルダーに伝える
ことも責任なのですよ、伝えな
ければやっていないのと同じだ
と言われたのです。確かに企業
として、自分の仕事以外にこれ
らの活動をしているのを多くの
方に知ってもらうのは誇りの持
てることですし、ステークホル
ダーの皆様を知って頂くのはも
ちろん、社員のご家族や若い世
代の方に知ってもらうことも嬉
しいことですね。
作業車に乗っている、設備を
動かしている、接客をしている
る、営業をしているという日常
業務以外にも実はこんなことを
やっているということを知って
もらい、誇りを持ってもらうこ
と。快適環境創造企業の理念に
も合っています。この一冊のC
SR報告書をご覧頂くと中特グ
ループがどんな企業集団で何を
やっているのかを理解して頂け
るのですね。実際に創刊号を
ご覧になった方々からも反響
が大きく、驚いています。中小
企業のCSR報告書発行は一
割に満たないそうですが、中特

グループが存続する限り、私はCSR報告書の発刊（CSR活動を行う）を続けていきたいと思っています。

—— 若手社員・女性社員
に対して望むことはなんでしょうか？

そうですね、若手社員や女性社員を特別視することは特にありませんが、若手、女性だからこそという視点でどんどん積極的に動いてほしいと思います。私も常に意識していることです。が、もう何歳だからとか、女性

だからとか、この業種だからなどとは思わない発想が大切なのです。固定観念からの脱却というか、そんなことに囚われないで活発に動きましょう。

私は、社長になった当初、意識していたのは同業社さんや周りの会社さんでした。しかし、現在では常に意識しているのは私たちが目指す理想の姿です。目指す姿と現在の姿を常に比べています。まだまだ不十分で、足りない所を挙げるときりはありませんが、決して諦めずやり続けることで達成できると信じています。ただし、理想の姿も年々進化していくと思いますので、その距離は永遠に縮まらないかもしれません（笑）。廣中さんや相本さんがずっと安心して働ける会社になっているはず。そして、中特グループとはこんな会社だと皆さんから周知されている、そんな会社になっていると思います。

皆さんに望むことは、目標に向って行動することの大切さを

知ってほしいと思います。若手の特権は、いくら失敗しても良いことだと思えます。人は行動する時、一歩踏み出そうとする

時、過去の失敗のトラウマに囚われてしまい、出来ないこと、自分の変わらないことを過去、家庭環境、社会のせいしがちです。しかし、新しいことにトライすること、これから第一歩踏み出すことに、過去のしがらみ、失敗などは一切関係ないということを知っておいて下さい。今私たちには未来しかないのです。かくありたい、夢を実現したいということだけ考え行動すればいいのです。私が掲げている、中特グループの未来の姿と現在の姿の差を私と一緒に埋めていって欲しいのです。10年後、20年後に中特グループに入って良かった、自分たちが変革したのだと言える会社にして

ほしいのです。

—— 最後に、思っておられること、伝えたいことがあればお願いします。

山口県の高齢化は全国的に見ても著しく、周南市においても例外ではありません。若い人は進学と共に首都圏に出て行ったまま戻ってくる人は多くありません。都会で就職し結婚し家を持つ。そして、昨今では地方に残った両親が年を取ると、心配だからと都会の家に呼び寄せるといった傾向があるそうです。このままだと地方の過疎化がより深刻になります。ですから私は、都会に住む子供さんが安心出来る、もちろん高齢者である親御さんご自身も安心してここ周南市に住める、そのため私たちが出来ることは何だろうかといつも考えています。私は、私たちの出来ることを今後も誠実にやっていきたいと思っています。



組織体制

(株)中特ホールディングス

未来創造室

企画広報室

総務部

CSR推進室

未来開発部

CS営業部

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

設立：平成24年4月

代表者：吉本 英子

橋本 ふくみ

資本金：3,000万円 従業員：13名

事業内容：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務、ダチョウ飼育による食品リサイクル事業

中国特殊(株)

エコ事業部

- ・eクリーニンググループ
- ・HOSグループ
- 管理チーム
- 清掃チーム

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

設立：昭和41年2月1日

代表者：橋本 ふくみ

資本金：2,000万円

売上高：4億73百万（平成26年7月期）

従業員：29名

事業内容：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、下水道維持管理業、建設業

(株)吉本興業

環境事業部

- ・サービスグループ
- サービスチーム
- ソーティングチーム
- ポータルハートサービスチーム

所在地：山口県周南市大字久米3044番地の2

設立：昭和42年7月

代表者：吉本 妙子

資本金：1,000万円

売上高：3億76百万（平成26年7月期）

従業員：25名

事業内容：一般廃棄物収集運搬業、ポータルハートサービス事業

(株)リラフ

リサイクル事業部

- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ

所在地：山口県周南市大字久米3078番地の1

下松リサイクル工場

山口県下松市東海岸通り18番地の1

設立：平成元年2月

代表者：吉本 英子

資本金：9,500万円

売上高：3億28百万（平成26年7月期）

従業員：20名

事業内容：産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、リサイクル事業

(株)藤井興業

アメニティチーム
(新南陽担当)

所在地：山口県周南市宮の前二丁目2番12号

設立：平成5年4月

代表者：平岡 仙吉

資本金：1,000万円

売上高：46百万（平成26年7月期）

従業員：4名

事業内容：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、貯水槽清掃業

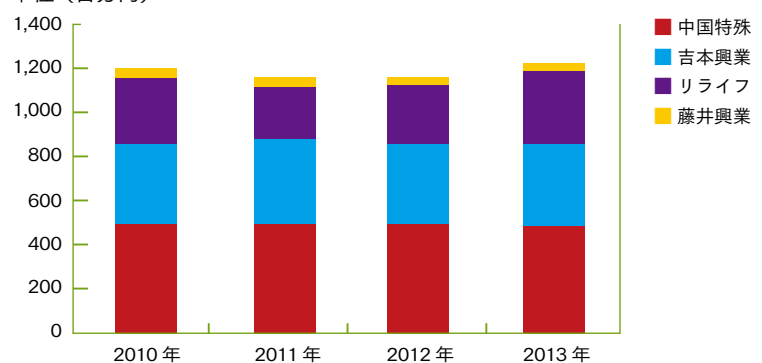
※H26年8月より吉本興業の産廃業務はリラフへ移管しました。

※藤井興業は旧新南陽地区エリア担当



売上推移

単位（百万円）



理念信条

スローガン

いつも明るく元気良く、関わる人たち全てに元気を与えるグループになろう。

ミッション

私たちは限られた資源の有効活用を促進し、地球環境の保護に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

私たちの目指すもの

- 1.立派な人、立派な社会人になる
- 2.経済的に豊かになる
- 3.社会から認められる会社になる
- 4.誇りが持てる会社になる
- 5.努力が報われる会社になる

私たちの合言葉

“現実を見よう、外を見よう、先を見よう”

- 1.私たちは、お客様とHappy/Happyの関係を築きます
- 2.私たちは、倫理綱領を遵守し、コンプライアンスを徹底します
- 3.私たちは、一人ひとりが日々成長に努め、少数精鋭集団を目指します
- 4.私たちは、“できない”という言葉は言いません。出来る方法を徹底して考えます

社員の行動指針

中特グループの社員は、日々の仕事の中で「情熱 Passion」を持ち、以下の行動の中で常に意識します。

Professional 〈高い専門性〉

それぞれの得意分野を極め、プロ集団を目指します。

Ambition 〈強い志〉

潜在意識に透徹するほど、強い志を持って努力します。

Sincerity 〈誠実な心〉

常に相手の立場になって考え、誠実な心で尽くします。

Speed and Service 〈スピードとサービス精神〉

お客様のニーズをすばやく察知し、最高のサービスを提供します。

Innovation 〈絶えざる革新〉

目標は高く、今日よりは明日へと常に革新に努めます。

Optimism 〈プラス思考〉

失敗は成功の母、夢と希望を持って取り組みます。

Never give up 〈決してあきらめない〉

打つ手は無限、常に可能性を追求します。

グループ倫理綱領

■お客様に対する姿勢

誠実な対応はもちろん、安全で安心できる商品、サービスの提供を行います。また、守秘義務と適正な情報管理を徹底していきます。

■社員相互の姿勢

人権の尊重と多様な価値観を受容する風土を育み、誇りの持てる社員・会社として、自己責任の意識を大切に支援して参ります。

■取引先に対する姿勢

パートナーシップを築き上げ、契約の厳守を徹底し、公正な取引に取り組みます。

■地域社会に対する姿勢

廃棄物の減量・適正な処理とリサイクルについて意識を高め、環境汚染の防止を推進、地域活動への積極的参加も目指します。

■業界に対する姿勢

公正な競争を遵守し、権利の尊重と保護を大切に、業界トップを目指します。

■行政に対する姿勢

法令遵守を徹底し、反社会的勢力との関係を断固拒絶します。また、明朗な会計報告でクリーンな企業運営をします。

廃棄物の処理事業と下水道事業を柱に、グループ各社の専門技術を活かし、環境の改善と保持、ご提案までを含めたトータルな環境事業に取り組んでいます。

産業廃棄物の処理

低・高含水廃棄物の収集・運搬



強力吸引車



水密式ダンプ車

固形廃棄物の収集・運搬



運搬車



アームローダー車

再資源化処理



汚水処理施設



脱塩・脱水処理施設



ふるい分け・混合処理施設

放流

セメント
原料

リサイクル処理



破砕処理



選別処理

種類別に
リサイクルへ

一般廃棄物の処理

- ・家庭ごみの収集
- ・不用品処理
- ・生前整理
- ・遺品整理
- ・し尿の収集運搬
- ・浄化槽の維持管理
- ・その他



コンテナボックス



アームローダー車



パッカー車



家庭ゴミの収集



遺品整理



し尿の収集運搬



浄化槽の維持管理

下水道・排水設備の維持管理

管内調査



テレビカメラ調査

管内・側溝清掃



高圧洗浄車
強力吸引車

排水管高圧洗浄



清掃前



清掃後

管更生・部分補修



パートライナー工法他

グリストラップ清掃



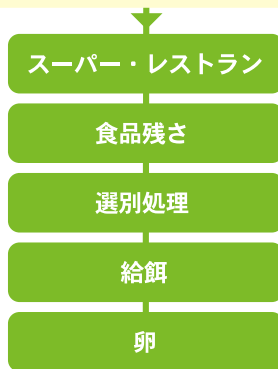
清掃前



清掃後



食品リサイクル・ループの構築



ダチヨウ飼育施設
スーパーやレストラン、厨房等から排出される食品残さのうち、野菜くずなど状態の良いものを吉本興業で収集・選別し、飼料として活用しています。
地域密着型の循環型モデル、それが私たちが目指す「食品リサイクル・ループ」です。

ダチヨウ関連事業

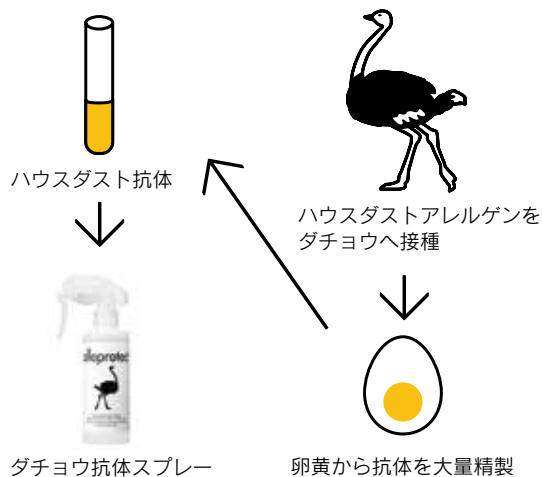
Dプロジェクト

資源や環境社会の活性化を図るプロジェクトです。

ダチヨウの卵を活用した新規有用素材に成功しました。

様々なアレルギー疾患を誘発するとされる「ハウスダスト」に対する抗体をダチヨウにより大量精製し、家庭用品へと商品化しています。

今後は、ハウスダスト対策用のスプレー剤の他、化粧品、空気清浄機フィルター、マスクなどへの応用が可能となります。



環境方針

基本理念

中国特殊グループは地球上の全人類及び地域社会とともに「持続可能な発展」をするために、環境の保全に努め、環境に優しい企業活動を行います。

環境方針

限られた地球資源の有効活用を促進し地球環境に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

1. 当社グループは、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬、処分、及び再資源化、水処理等の全事業活動から生じる環境影響を的確にとらえ、次の項目について重点的に取り組みます。
 - (1) 当社グループの事業活動の信条に則り、民間企業及び官公庁から委託される廃棄物の処理に努める事はもとより、廃棄物の再資源化拡大に積極的に取り組みます。
 - (2) 汚泥処理を拡大し環境影響負荷の軽減を図ります。
 - (3) 工場で使用する電力の原単位向上を目指します。
 - (4) 地域社会との協調を念頭に置き、地域及び職場の環境美化に努めると共に、各種勉強会の開催等を通じてお客様とのコミュニケーションを図ります。
2. 環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善を行い環境汚染の予防等の環境保全に努めます。
3. 環境方針の達成のために、当社グループは環境目的・目標、環境マネジメントプログラムを策定し、環境保全活動を推進します。
4. 環境側面に関する法規制、その他の要求事項を明確に遵守します。
5. 環境方針は当社グループで働く全社員及び当社グループのために働く全ての人に周知します。またこの環境方針は社外に開示します。

平成24年8月10日

中特ホールディングス社長

橋本ふくみ

ISO内部監査、更新審査

4月14日～18日に、内部監査を実施しました。

5つの審査チームに分れてマネジメントシステムが有効に機能しているか、環境パフォーマンスの向上・改善はなされているかを確認致しました。

不適合・観察合せて22件の項目が摘出され、それぞれ改善を図っていきます。



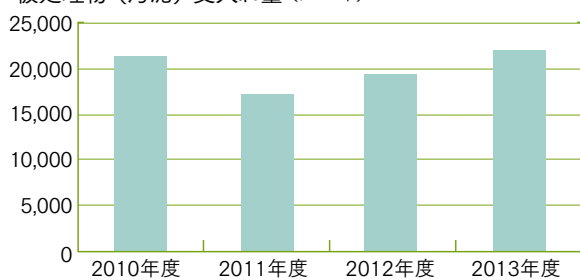
6月5日～6日に更新審査が実施されました。
4回目の更新審査で、規格要求事項に適合して有効に実施されているか審査されました。改善の余地3件が挙げられましたが、環境マネジメントシステムは継続的に維持改善されていること、またシステムの有効性を確認して頂きました。

環境目的、目標、実績

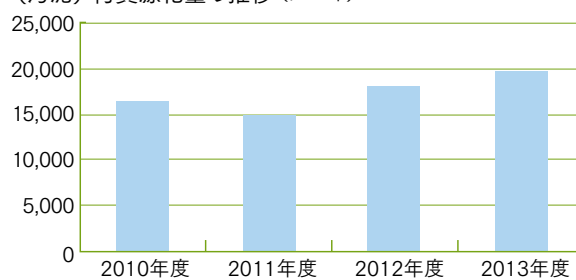
環境目的	施策	～2014年7月計画	～2014年7月実績	2014年8月～ 2015年7月達成目標
被処理物 受入物の拡大	顧客拡大、定期訪問 営業活動改善他	2010年度の+15%	2010年度の+3%	2010年度の+15%
再資源化の 拡大	営業部・現場の密接な情報交換	2010年度の+15%	2010年度の+32%	2010年度の+32%維持
一般廃棄物の 再資源化	各実行部門施策 実行の監視	2010年度の+15%	2010年度の+6%	2010年度の+15%
工場電力 原単位の向上	効率的運転、積極的改善提案 電力削減	2010年度の電力 原単位3%向上	2010年の電力原単位4.6%向 上	2010年の電力原単位4.6% 向上維持
リライフ排水の リスク低減	自主基準値超過警報器の設置	2013年7月迄に警報器順 次設置	2013年警報器設置完了	別目標に変更 ダチョウ食品リサイクル
事故苦情件数の 削減	各実行部門施策 実行の監視	2013年度までに事故苦情 件数を0件	2013年事故50%減少	事故苦情0件
環境保全の 向上	各実行部門施策 実行の監視	5S実施、 構内美化、周辺道路公園 の清掃	1回/月清掃活動 清掃活動ボランティア	1回/月清掃活動 清掃活動ボランティア
資格取得の 推進	各実行部門施策 実行の監視	2010年資格+5ポイント 向上	2013年度末資格 ポイント5.8	2014年度末資格 ポイント10.0

環境パフォーマンス実績

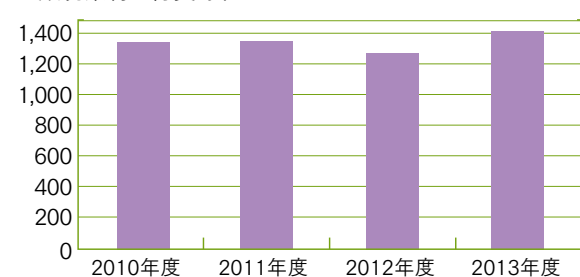
被処理物（汚泥）受入れ量（トン/年）



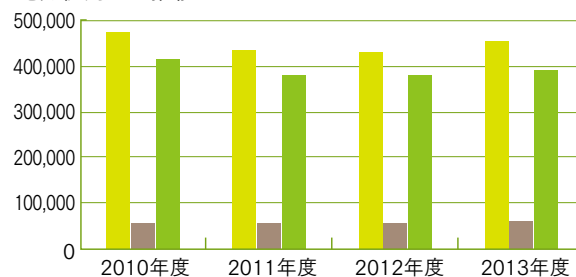
（汚泥）再資源化量の推移（トン/年）



一般廃棄物の再資源化量（トン/年）



電力使用量の推移（Kwh/年） ■ 全電力 ■ 事務所電力 ■ 工場電力



カーボンオフセットの取組

カーボンオフセットとは、イベント等により排出されるCO₂を他の省エネ事業により創出した排出権（国内クレジット）により埋め合わせることで、CO₂の排出を実質ゼロにできる新たな地球温暖化防止の取組みです。

昨年に引き続き、今年度も中特グループが提案し、「第11回周南24時間リレーマラソンinYamaguchi」で実施されました。

下松市のザ・モール周南星プラザを運営する下松商業開発(株)が照明設備の省エネ化で生み出した排出枠を中特グループ

が買い取り、大会に無償提供しました。

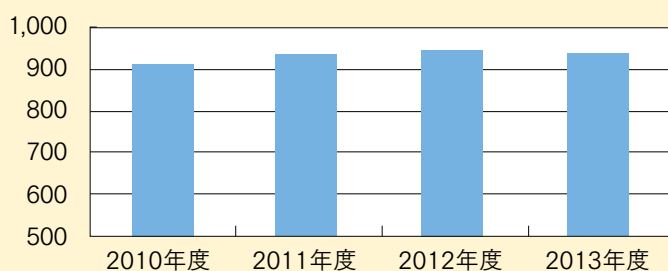
周南24時間リレーマラソンにおけるカーボンオフセットの対象は、会場の音響設備・計測設備のエネルギーや、参加者・関係者の移動（電車、車両等）に関するエネルギー使用などによるCO₂で、走行周回1周あたり0・5 kg、26000周回分の13000 kgのCO₂を削減埋め合わせします。

実質的にCO₂排出ゼロの環境にやさしい大会運営への貢献を通じて、地域における低炭素社会の実現に取組んでいます。



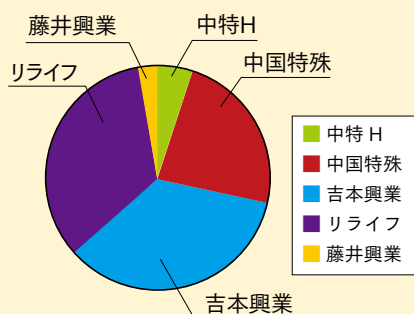
CO₂排出量推移

CO₂ 排出量の推移（グループ合計）（トン／年）

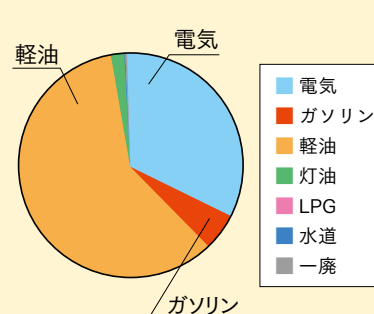


地球温暖化防止には温室効果ガスの低減が必須とされています。中特グループの排出量がどのような実績が調査しました。総計約937t/年排出しており、約2/3が燃料消費によるものです。数年前まで目標に上げ活動し対策も出尽くし維持管理目標としていた燃料消費量を含め、改めて見直し改善を進めていきます。

各社別排出量



種類別排出量



(算定資料)

種類	単位	係数	単位
電気	kwh	0.672	kg
LPG	m ³	0.818	kg
水道	m ³	0.58	kg
一般廃棄物	kg	0.84	kg
灯油	リットル	2.49	kg
ガソリン	リットル	2.32	kg
軽油	リットル	2.58	kg

マテリアルバランス

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

INPUT 事業に伴う 資源・エネルギー等		OUTPUT 再資源化、 地球環境への排出等	
がれき	1,257t	がれき	1,403t
ガラス陶磁器くず	220t	ガラスコンクリ陶磁器	226t
廃プラスチック類	888t	廃プラスチック	867t
金属くず	317t	金属くず	336t
紙・繊維くず	90t	紙・繊維くず	89t
石膏ボード	31t	石膏ボード	27t
木くず	583t	木くず	575t
汚泥	20,068t	セメント原料	18,829t
廃アルカリ廃酸	558m ³	廃油	35m ³
廃油	494m ³	アスファルト材	10t
鉱さい	57t	肥料原料	32t
動植物性残渣	5t		
燃え殻	238t		
処理水	66,672m ³	処理排水	70,890m ³
		CO ₂ 排出量	937t
電力	454,840kwh		
ガソリン	21,623 ℓ	下水排水	2,070m ³
軽油	220,747 ℓ	地下水排水	2,000m ³
灯油	4,507 ℓ	一般廃棄物	1,875kg
LPG	83m ³		
水道水	2,071m ³		
地下水	2,000m ³		
コピー用紙	81,400枚		

中
特
グ
ル
ー
プ

(2013年度分)

出前環境授業

6月3日に周陽小学校、9月25日に徳山小学校、9月26日に菊川小学校で4年生を対象に出前環境授業を実施しました。

リサイクルのしくみや流れ、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の解説、ごみ分別ゲーム、収集車への積み込み体験などを

行いました。
収集車への積み込み体験では、先生方も参加され、皆さんで楽しく積み込み体験をされていました。
出前授業を通して小学生の皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。



出前環境授業に対しお礼の手紙をいただきました。3Rを学んだことや分別で知ったこと、面白かったことの感想が一人ひとり書かれていました。ありがとうございました。



第1回 エコフェス in 中特グループ開催 5・31

中特グループが地域社会に貢献する活動の一環として「530（ごみゼロ）」及び「環境の日」にちなみ、環境関連企業として環境問題に関係すること、地域の子供たちが楽しめる催し・キャンペーン・イベントを開催したいという思いでエコライフプロジェクトが中心で企画し、次のような催しを実施しました。

資源回収（空き缶・ビン・PETボトルの資源回収）

当日、空き缶・PETボトルなど5つ以上お持ちいただいたお客様に粗品をプレゼント

リサイクル工作

PETボトルを使って、飾り・ビーズ・キーホルダー・風車などを作成体験

パッカー車・吸引車の展示説明

日頃見られないパッカー車・吸引車の内部まで展示開放し説明

ダチョウ展示

食品残渣リサイクルパネルの説明やたまごまで展示し説明

スチール及びアルミの金属缶プレス圧縮展示

子供たちを楽しませるジャグリング・マジックショー・

ミニ緑日・風船配布など

当日は天候にも恵まれ想定以上の多数の方が来場され、楽しみ学んでいただきました。今後も地域の皆様・地域の子供たちにアピールしていきたいと考えています。



「530運動」

「自分のごみは自分で持って帰りましょう」との合言葉のもと「530運動」の推進が提唱されました。

1975年に530運動推進連絡会が設立され、初の一斉「530運動」が行われる運びとなり、この運動は「ごみゼロ」という明解で親しみやすい呼び名が功を奏し、次第に全国に広まって行きました。毎年5月30日にはこの530（ごみゼロ）にちなみ、全国各地でごみ拾いを行う行事が開催され環境意識を高める場となっています。

「環境の日」6月5日

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」で「環境の日」を定めています。平成3年度から6月の1カ月間を「環境月間」としており、6月は関係府省や地方公共団体などにより全国で様々な行事が行われます。

地域清掃活動

徳山港とその周辺

3月8日、山口県清港会と山口県磯釣り団体協議会が、「山口県の美しい里山・海づくり条例」に基づき、周南市徳山港町の港公園とその周辺の清掃を実施しました。

趣旨に賛同した中特グループと高校生、県と市の職員などから参加者が約90人集まり、約2時間の活動でゴミ約300kg、草約4000kgを集め回収しました。

この公園は徳山下松港を臨み、広さは約3000㎡。草が繁茂し、ごみが多く、手入れされていなかったため清掃することになりました。



清掃前



清掃後

はなぐり海岸

6月7日、㈱ライフ主催で、下松市笠戸島はなぐり海岸のボランティア清掃を実施しました。今回は中特グループ以外の方へも声をかけ、参加いただきました。

清掃後は、見違えるほどきれいになり、これからも積極的にボランティア活動を続けていく決意をしました。



大津島刈尾海岸

10月18日、山口県釣り団体協議会主催「水産多面的機能発揮対策事業」で周南市大津島刈尾海岸清掃が行われ、㈱吉本興業・中国特殊㈱も参加しました。今回は子供達も多数参加し、港海岸の清掃のみならず稚魚の放流も行いました。

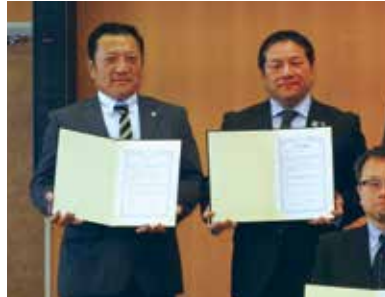


周南市もやいネット支援事業者協定

4月22日、(株)藤井興業が「高齢者等見守り活動に関する周南市もやいネット支援事業者協定」の締結をすることとなり、調印式に出席しました。

「もやいネット」は、2013年4月に周南市が中心となり、第1期として中国特殊(株)、今年の第2期に(株)藤井興業が締結に参加しました。

ご高齢の方が地域社会の中で孤立化することで介護・福祉面はもとより防犯・防災上も危険な状況にさらされることを防ぐため、生活に密着した事業者が行政と連携し安全・安心して暮らせるよう、ご高齢の方の見守り活動を行うことを目的とした協定です。



いきいきサロン

「ポータルハートサービス」の一環として、周南市内で開催されている高齢者交流の場「いきいきサロン」に若手社員が中心となって参加し、ジャグリング披露やごみ分別ゲームをするなど、地域社会や高齢者との交流を重点的に行っています。

4月に山手自治会で行われたサロンに参加しました。ジャグリングや分別ゲームを行い会場は大いに盛り上がりしました。参加された方々も各自で分別が分からなかったごみを持参して頂き、たくさんのご質問をいただきました。中にはすぐに回答ができないような難しいご質問もあり、ご質問を通して勉強をさせていただきました。



6月には須々万支所で行われたサロンに参加し、分別ゲームやジャグリングで盛り上がりました。参加された方は約80名にも上り、みなさん大変元気でスタッフが逆に元気をいただきました。



いきいきサロン担い手連絡会

周南市内約180地区の世話係(民生委員の方など)で構成され、種々の情報交換する「いきいきサロン担い手連絡会」にも参加させていただき、中特グループ・吉本興業で実施している分別ゲーム・ジャグリングなどの活動内容を紹介させていただきました。

在宅で閉じこもりがちな高齢者がふれあい、いきいきサロンを通じて身近な場所が集い、交流を深めることにより、生きがいや社会参加意欲を高めることに貢献できれば幸いです。

中特グループは、地域に暮らす人々のお困りごと相談窓口として開設した「ポータルハートデスク」で、ごみ処理などのお困りごと・遺品整理・排水管詰まり解消の24時間対応など、業務を通して市街地のみならず中山間地にお住まいのお客様にもお世話になっています。定期的にお客様とお顔を合わせ、ふれあうことができ、高齢者の方々の支えになれたらと考えています。

岩国豪雨災害の復旧支援

今年も温暖化の影響か、全国各地で豪雨被害のニュースが聞かれました。中でも広島土砂災害の被害は甚大で、関係者にお見舞い申し上げます。山口県でも岩国豪雨災害が発生、中特グループも関係機関からの依頼により休日返上で復旧応援にあたりました。

限られた装備、人員ではありますが、万一の際には対応可能なように日頃から準備しておきます。



徳山夏まつり参加

7月26日、恒例の「第41回徳山夏祭り」が開催され、中特グループが「ごみの分別案内」と「ごみ拾いの奉仕活動」に参加しました。会場内に7種類のごみ箱を用意し、ごみ捨てに来た方々に分別案内を行いました。また、新しくなったコンテナを2台用意しました。

今回は徳山商工高等学校の学生の皆さんにも参加いただき、いっしょに奉仕活動を行いました。



不法投棄回収ボランティア

10月29日、周南市末光で山口県産業廃棄物協会周南支部主催の不法投棄ボランティアに弊社グループ社員7名が参加しました。

8割が家庭から排出されたと思われる廃棄物でしたが、皆で協力してきれいにしていきました。不法投棄がなくなることを願っています。



終活セミナー

11月1日、道の駅「ソレーネ周南」の研修交流室にて、一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事 武藤頼胡先生をお招きして、「終活セミナー」を開催しました。終活とは「人生の終焉を考えることを通じて自分を見つめ、今をよりよく自分らしく生きる活動」のことです。

当日は会場満席のお客様にご来場いただき、「終活」について皆様の関心の高さを改めて実感致しました。会場でお配りした「エンディングノート」も好評でした。お客様からは、「とても良い話をありがとうございました。また次もお願いします。」とのうれしいお言葉もいただきました。

第2弾も企画しておりますので、是非ご期待ください。

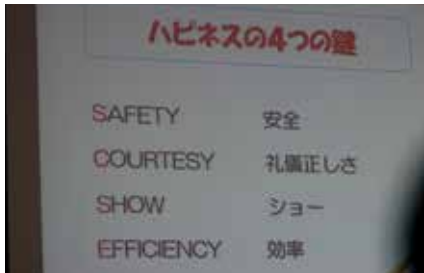


Happy/Happy勉強会

6月27日、下松市地域交流センターで「第8回 Happy/Happy 勉強会」を開催しました。

講師に三越、オリエンタルランドと一貫してサービス業関連に携わってこられた高橋昌也氏をお迎えして、演題「6億人の笑顔を創るパフォーマンス～ディズニーキャストの秘密～」をご講演いただきました。

東京ディズニーランドを支えるキャストの皆さんの、おもてなしの心的一端を知ることができとても驚きました。私たちもサービス業に携わる者として、お客様に笑顔になってもらえるようなおもてなしができるようにサービス向上に努力してまいります。



廃棄物のQ&A

廃棄物に関するよくある疑問点・不明点をジャンル別に分け、Q & A形式で専門家がわかりやすくお答えする専用サイトをご用意しています。いつでもご利用いただけます。



廃棄物に関する疑問点・不明点を当社、法務顧問がわかりやすく回答します。
また、廃棄物に関する、よくある質問について、様々なケースごとに記載しています。

廃棄物で困ったときに、ご利用ください。

専用サイトは、中特グループトップページのバナーから

中特グループホームページは ➡ [中特グループ](#) [検索](#)

ご相談、お問い合わせは特設ページにて受付けております。

なお、いただきました内容は、本来の目的以外に使用することはありません。
また、ご質問内容が第三者に閲覧されることもありません。

ポータルハートサービス

ポータルハート通信

今年から、ポータルハートサービス（お困りごと相談窓口）で、「ポータルハート通信」を創刊しました。

この「ポータルハート通信」では、地域の皆様へ少しでもお役に立てるよう不用品回収や遺品整理、身近なごみに関する豆知識などの情報を隔月お送りしています。

専用サイト <http://www.portalheartdesk.com>



エコテクノ2014/中小企業テクノフェアin九州へ出展

10月8、9、10日に西日本総合展示場（北九州市小倉区）で開催された「エコテクノ2014／中小企業テクノフェア in 九州2014」に出展しました。

エコテクノとは、「西日本最大規模の環境ビジネス見本市」です。下松リサイクル工場で行っている汚泥のリサイクルプロセスのご紹介や、ダチョウ飼育による食品リサイクルの展示説明、「アレプロテクト」のPRをしました。



工場見学の受入れ



山東省人民訪日代表団見学

3月17日に山東省人民訪日代表団の方が下松りサイクル工場の見学に来られました。

また、ウエストグリーンネット、山口県産業廃棄物協会等々多数ご来場いただきました。



昨年度下松りサイクル工場では年間で40グループ 延べ400人超の見学を受け入れました。ご来場いただくことで従業員の5S 環境美化の取組みにも気合が入り、何よりの励みにもなります。ご来場いただいた方々ありがとうございました。



吉本興業リニューアル

(株)吉本興業は、今年さまざまなリニューアルを行いました。

産業廃棄物業務を8月から(株)リライフへ移管し、一般廃棄物とポータルハートサービスに重点を置きました。

ユニフォームも一新し車両も変わりました。組織は、一般廃棄物の「サービスチーム」、分別を行う「ソーティングチーム」、遺品整理・生前整理をはじめお客様の「お困りごと」に対応する「ポータルハートサービスチーム」の3チームに再編しました。

ユニフォーム



ジャンパー



ベスト



長袖Tシャツ、ズボン、エプロン、キャップ

車両 & コンテナボックス



バッカー車



アームローダー車



コンテナボックス

ポータルハートデスク

- ・個人のお客様 生前整理・遺品整理、不用品・粗大ごみの回収
トイレ・浄化槽・下水・排水管のトラブル、身の回りのお困りごと
- ・企業、法人のお客様 産業廃棄物・事業所のごみ処理に関するご相談・お問合せ
トイレ・浄化槽・下水・排水管のトラブル、カメラ調査のご依頼
- ・お店、飲食店のお客様 ごみ処理に関するご相談・お問合せ、グリストラップの清掃
トイレ・浄化槽・下水・排水管のトラブル

⇒ポータルハートサービスチームを中心に中特グループ全体で的確に心をこめて対応します。



変化こそ大チャンス

変化の突風が吹く時、防壁を立てる者もいれば、風車を創る者もいる

事業発展計画発表会

9月6日、「第17回中特グループ事業発展計画発表会」を遠石会館にて開催いたしました。事業発展計画発表会は経営者の思いを伝え、年度目標や方針を徹底することを目的に、毎年開催しています。



小野会長様



各部代表決意表明

今年の発表会は、中特グループ代表の吉本英子による挨拶から始まり、副代表の橋本ふくみより「2013年度総括及び、中期ビジョン2014年度各社目標・方針・重点施策」の発表を行いました。今期のテーマは、「変化こそ大チャンス」、変化の突風が吹く時防壁を立てる者もいれば風車を創る者もいる」という、ブラジルの作家ヘリッシモの言葉が紹介されました。その後、各部門代表から決意表明がありました。講演には、サマンサジャパン(株)の小野会長を迎え、「日本の現状と企業の対応策」と題した講演が行われました。

社員表彰
発表会の終盤には、会社の業績等に功績のあった社員を表彰しています。



「目指すポジション」唱和 エコライフプロジェクトのメンバー



社員表彰されたメンバー

最優秀部門賞



総務部

無事故・無災害賞



(株)藤井興業

(株)リライフ

改善提案部門賞



総務部

最多改善提案個人賞



山田 俊一

マナー部門賞

笑顔が素晴らしいで賞



石田嘉邦



大工李新生



岩井 勝巳



福田 博子

身だしなみが素晴らしいで賞



武居 浩



山縣 大輔



有田 誠



桑原 浩司

あいさつが素晴らしいで賞



藤田 晃大



村田 耕平



中道 敦次



富塚 光世

リーダー研修会

中特グループの業務推進の要であるグループリーダークラスの方々に対し、定期的にリーダー研修会を実施し、レベルアップを図っています。

リーダー研修会のテーマ

H 25・12・7 自部門のお客様サービスについて
H 26・3・1 中特グループのパワー強化を目指して
H 26・6・18 自部門の目標達成見込みと課題
H 26・7・12 2014年度目標達成に向けて

廃棄物処理法勉強会

5月より、3回に分けて中特グループ法務顧問の行政書士エース環境法務事務所代表 尾上雅典様をお招きして法務勉強会を開催しています。

若手社員に対して廃棄物処理と清掃に関する法律の基礎研修、営業・リーダー向けに専門的な勉強会を行いました。実際にあった事例などで解説をしていただき、参加者一同興味深く講義を受けました。

今後とも徹底した法令遵守のもと業務を行うため、継続してレベルアップに努めてまいります。

各種勉強会・講習会

勉強会

業務で必要な知識・技術及び関連する知識を保持するため、各部門ごとに勉強会を実施しています。

コスト・原価管理、或いは車両に関すること等、部門で必要な各種勉強会を実施しています

講習会

HOS 関係では浄化槽に関する講習会、リライフ他重機使用部門では重機の安全操作に関する講習会など、各メーカーの専門家を招き講習会を実施しています。



自己啓発支援

社員（人財）を育成することに会社として注力をし、社員もまた自ら能力向上に取組み、その力を十分に発揮することで高い成果を上げることができるように取り組んでいます。

資格の取得、セミナー研修会等への派遣、その他幅広く自己啓発活動支援をしています。

自己啓発支援制度

―自ら学ぶこと 自己啓発を重視します。
―いろいろな仕組みを用意し、意欲のある人にはどんどんチャンスを与えます。

●資格認定は次の3つに分類しポイント設定をし、社員ごとに取得した「資格ポイント」を算出し目標管理しております。

- ①業務上必須必要資格・講習
- ②業務関連資格・講習
- ③スキルアップ資格講習

●社外セミナー等への派遣

各事業部・グループごとに個々の社員に能力向上に必要なセミナー・講習会・研修に逐次計画的に参加派遣しています。

各種研修・啓発活動

「現実を見よう、外を見よう、先を見よう」の合言葉に沿って、様々な啓発活動を行っています。

「現実を見よう」

総務部のお客様対応のためには業務を良く知ることが肝要です。実際のグループの各作業現場へ行くことにより自分の目で見て業務の詳細を把握しています。また、各部共に近隣並びに県内外の関連施設等に、見学に行つて研修しています。



「外を見よう」

各種展示会・イベントなど社外の様々な情報に触れて吸収するため、機会があれば積極的に参加しています。

9月に産廃協会の県内施設視察参加、5月には東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級の環境展「2014NEW環境展」にグループより7名が参加し最新の環境に関わる技術・新情報を吸収しました。

「先を見よう」

5月、橋本社長は、廃棄物処理の動向と廃棄物処理最先端技術調査の目的で、ノルウェー・ドイツを訪問しました。

先進の廃棄物処理技術を知ること、グループの業務進化に役立てていきます。近隣諸国、東南アジアの廃棄物及び環境関連状況も関心を持って調査しています。



ノルウェーのリサイクル工場



ドイツの処理施設



第11回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchi 参加

「カーボンオフセット」の対象イベント



9月27日～28日、周南緑地運動公園を会場に開催された「第11回周南24時間リレーマラソン」に今年も参加しました。中特グループは、第1回目から連続参加しています。このリレーマラソンは、15人以内のチームが一人1周（約1・6キロ）以上を走って、たすきリレーをし24時間の周回数を競うスポーツ大会です。

昨年度から、このイベントに温室効果ガスを相殺する「カーボンオフセット」を提案し、今年も無償提供。新たな環境の取組を実施し、実質的にCO₂排出ゼロのクリーンな大会が実現しました。

大会の参加結果は、147周で131位という結果でしたが、参加各企業・団体のPRの場でもあり、中特グループでも(株)吉本興業の新しくなったバックカー車をデザインした仮装で会場を盛り上げました。



社員研修旅行

グループ各社、従業員の視野を広める、親睦コミュニケーションを図る、日頃の業務の慰労などを目的として、毎年国内外各地へ研修旅行へ行っております。

(株)吉本興業は、昨年11月に従業員の研修と親睦と慰労を兼ねて熊本方面への旅行を行いました。

日頃は収集運搬など1人か2人の作業が多く、コミュニケーションの取りにくい業務ですが、この時は親睦とコミュニケーションを図ることができました。



6月に中国特殊(株)・(株)リライフ・(株)藤井興業・(株)中特ホールディングスで、埼玉・東京方面への研修旅行に行きました。

同業の石坂産業様を見学させていただきました。「掃除大賞」に輝き、環境学習を支援する、おもてなしの「石坂産業」様です。

とても同業とは思えない先進的取組み、意識改革、おもてなしに感心した次第です。参考にするとともに中特グループも負けずにレベルアップしていきたいと考えています。



社員親睦行事

部門間の交流を深め、社員相互の親睦を図ることを目的として、春の花見や夏のビアガーデンなど、年に数回社員親睦会を開催しています。

お花見



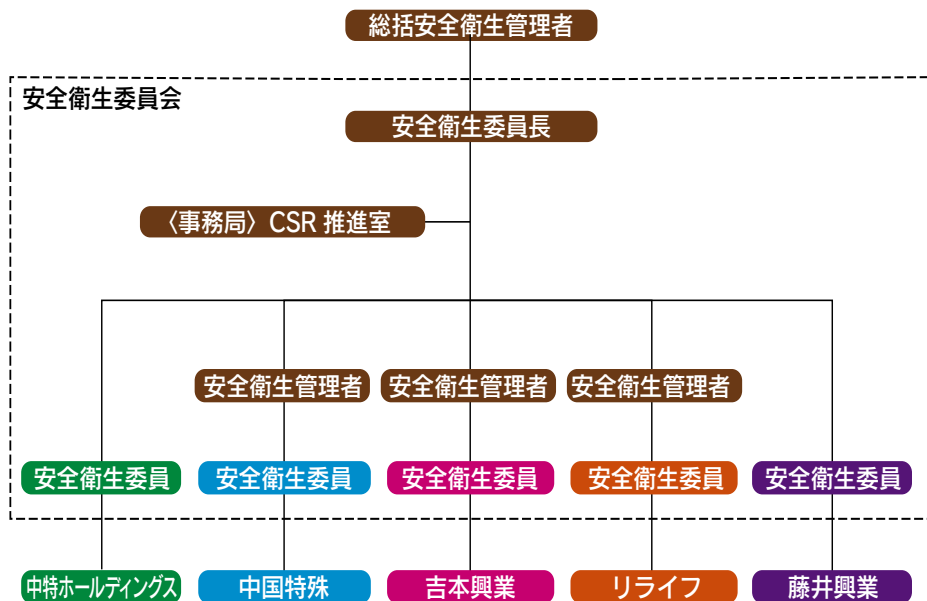
ビアガーデン



安全衛生・防災のレベルアップのために

中特グループでは、従業員数では過大とも言える総括安全衛生管理者の選任、安全衛生委員会を構成し、また研修・KY・各種訓練を行い、無事故無災害に向けて様々な活動を行っています。

中特グループの安全組織



JBK(事故撲滅研修会)

事故災害ゼロは事業を行う上で最優先課題です。この課題達成のため、吉本興業で毎月1回事故災害撲滅のため事例研究や交通KYなどを実施しております。



周南地域危険箇所MAP作成

グループ内の事故事例を基に周南地域の交通事故危険箇所MAPを作成しました。



交通事故防止「アイデア発想法」

交通事故防止の一環で、「8マスアイデア発想法」によって安全運転の意識向上を図りました。テーマは「自分が考えるマナー運転とは？」です。

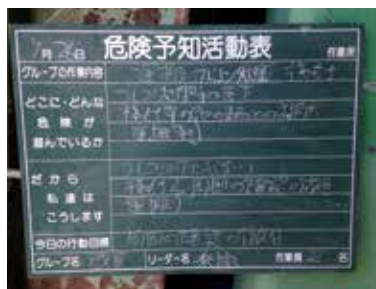
また、さらに絞り込み、譲り合い運転などを取り上げ実施しています。

テーマ:自分が考えるマナー運転とは?	譲り合いの精神で運転する	歩行者を最優先し運転する	歩行人に配慮する	スピードを出し過ぎない	アクセルを踏み過ぎない	安全運転を徹底する	車間距離を十分取る
1. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
2. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
3. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
4. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
5. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
6. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
7. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
8. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
9. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
10. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
11. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
12. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
13. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
14. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
15. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
16. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
17. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
18. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
19. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先
20. 歩行者への配慮	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先

- ※譲り合いの精神で運転する
- ※歩行者を最優先し運転する
- ※歩行人に配慮する
- ※スピードを出し過ぎない
- ※アクセルを踏み過ぎない
- ※安全運転を徹底する
- ※車間距離を十分取る

KY活動

下松工場では危険予知（KY）活動を重点推進しています。危険予知活動表ボードを製作、毎朝ミーティング実施し、当日の作業から危険要因を絞り込み、重点行動目標を定め無事故・無災害を目指しています。



交通KY活動

交通事故防止のためのKYも実施しています。各種交通KYシートを準備し、どんな危険が潜んでいるかグループ討議を実施しています。



消火訓練

収集する廃棄物の中にガスライターなどの危険物があり発火するなどの火災事例が多数あり、以前吉本興業でも事例があるので毎年消火訓練を実施し、万一の場合に備えております。



誘導訓練

パッカー車など大型車は見えない部分死角が多く誘導は欠かせない必須のことです。しかし誘導していながら障害物に接触するなどの事例が発生しています。安全確保な誘導をめざし定期的に訓練を実施しています。



アームローダー操作訓練

大きなコンテナボックスを扱うアームローダー操作は弊社では必須業務ですが経験の浅い新入社員も多く、ベテラン社員が若年社員に操作訓練を実施しています。



緊急事態想定訓練

緊急事態への対応のため、対応手順書を作成すると共に定期的に訓練を実施し、従業員への周知と手順の見直しを実施しています。



会社説明会

1月に開催された「リクナビEX山口」に参加しました。また、2月、4月、5月とグループ本社及びホテルサンルート徳山で会社説明会を開催しました。
多くの学生の皆さんに参加していただき

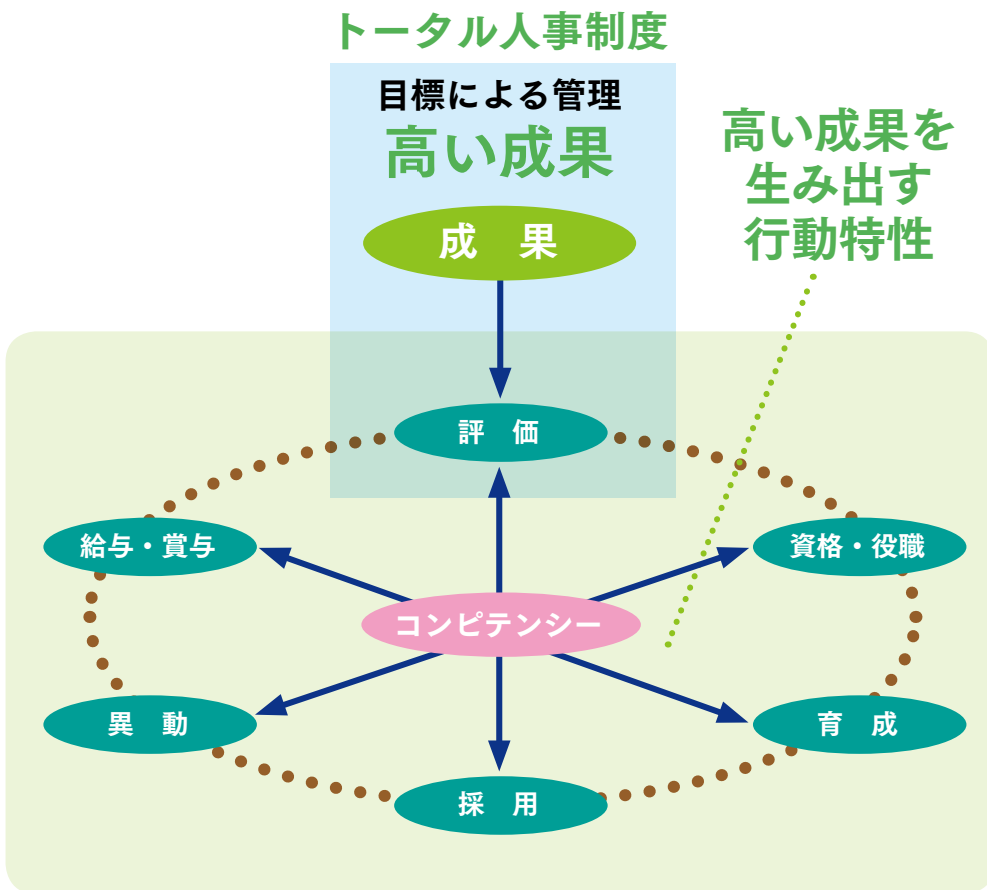


ありがとうございます。
多くの皆様に当社のこと、環境のことに興味を持っていただき、未来を開拓して行っていたきたいと思えます。

トータル人事制度

当社は、採用・育成から人事異動、評価・処遇まで一貫した方針で行なう「トータル人事制度」を構築しています。
「高い成果を継続的に生み出す行動特性」として定義される「コンピテンシー」と、

目標による管理制度による「成果」（目標の達成度と達成のための工夫・努力）を尺度として、**各自の能力や成果を公平・公正に評価し、給与・賞与や資格・役職を決めています。**



インターンシップ受入

業務体験と当社グループのことを知って
いただきたいと考えるインターンシップを実
施しております。9月25日には1日の体験
で「リサイクル事業を知る」ということで
工場見学、「地域社会とのかかわりを見る」
ということ環境出前授業への参加を企画
しました。

また、7～8月には徳山高専より長期間
の受入れをしました。

インターンシップを経験して



徳山工業高等専門学校
機械制御工学専攻1年

片山 陽太

「この夏、㈱リライフで6週間ほどお世
話になりました。地元の良い企業、さらに
は共同研究がありインターンシップをお願
いするのにつけてつけの環境でした。」

業務は未来開発部で蛍光X線分析業務と
共同研究でした。蛍光X線分析では、試料
サンプルの乾燥・粉碎・加圧成形・データ
の整理と、実際の業務と同じ流れで行い、

2週間で40検体の分析をしました。お客様
から廃棄物搬入がある際にはこのデータを
基に搬入の是非を問うので、間違ったデー
タを出したり、何時まで経っても分析デー
タが出ない、と大問題となるので非常に責
任のある業務だと感じました。また、多く
の方々との連携しながら研究を進めること
ができ、今後構想を練っていく上で大きな助
けとなりそうです。

分からない・知らないことばかりで毎日
が勉強でした。それらが逆に自分にとって
は楽しく、理解するにつれ視野が広がって
いくのが分かり、分野が違えば興味がある
ことなら積極的に学んでいくことが大切だ
と感じました。できるかどうかは、結局の
ところ本人のやる気次第だと思います。こ
れからの人生で何か問題が発生したとき、
多面的な知識を身につけていることで、
様々な角度、視点からのアプローチの方法
が見つけれられるはずです。」



株式会社 中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078 番地の 1
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856
<http://www.chutoku-g.co.jp/> Eメール info@chutoku-g.co.jp

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856

株式会社 リライフ

本社：〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-33-8685 / FAX: 0834-25-2856
下松リサイクル工場：〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18番地の1
TEL: 0833-44-0007 / FAX: 0833-44-1007

株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044番地の2
TEL: 0834-25-0423 / FAX: 0834-25-2939

株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前 二丁目2番12号
TEL: 0834-63-1294 / FAX: 0834-25-2856

編集後記

今年も異常気象・豪雨災害のニュー
スが多数ありました。温暖化の影響
がさらに進行していると危惧していま
す。中特グループも微力ながら快適環
境創造企業に向かつて、次世代のため
に色々な活動による環境改善に取組み、

活動内容を本リポート及びHPその他
で逐次お伝えしています。活動内容も
報告書も常に継続的改善を図っていま
す。ステークホルダーの皆様のご理解
とご意見をお願いします。

(遠藤)



*Re*の種を育てて
*Green*な社会をつくる



中特グループ



ポータルハートデスク 0120-105-568

